

藤岡市 議会だより



発行日 平成 16 年 8 月 15 日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 株式会社エスエイ印刷
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第27号

正・副議長決まる

5月の臨時会において正・副議長が決まりました。

議長 佐藤 淳



副議長 針谷 賢一



「就任にあたって」

議長・副議長就任にあたり市民の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

この度 平成16年第2回藤岡市議会臨時会において議員全員のご推挙により私どもが議長・副議長に就任いたしました。

本年は市制施行50周年の節目の年でもあり市町村合併や三位一体改革等、本格的な地方分権時代を迎え地方公共団体の自己決定権は拡大し、住民の意志を

代表する議会の担うべき役割は従前にも増して益々増大しております。更に高度情報化により多様化する市民要望や少子高齢化対策及び行財政改革等々、時



第46回藤岡まつり

代のニーズにも迅速に対応するため議会の権能強化とその活性化を図り、市民の付託に応える議会を目指したいと考えております。何卒、市民皆様方のご理解とご批判を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

6月定例会の あらまし

定例会は、6月7日から6月21日まで15日間の会期で開催されました。

藤岡市市営住宅設置条例の一部改正についてなど7議案、議員提出議案1件が提出されました。

- 7日〓本会議、会期の決定。市長提出議案7件を即決。
- 10日〓総務常任委員会 教務厚生常任委員会
- 15日〓本会議 一般質問
- 21日〓本会議 委員会付託・議員提出議案1件を可決。

一般質問

合併について

冬木 一俊

問 1市3町の合併の枠組みがくずれた時は、アンケート調査をするとしているが、どのようにするのか伺います。

答 市民抽出アンケート調査を、2千数百人を対象に予定しております。

問 アンケート調査を2千数百人を対象に予定しているとのことだが、少なくとも藤岡市全戸を対象に実施すべきだと思つが、市長に見解を伺います。

答 全戸実施は行いません。

問 市長は市民アンケート調査の集計は、公平・公正に公開で行つのか伺います。

答 集計は公開では、行いません。

問 市長は合併問題について合併の是非を含めた市長提案型の住民投票によって、民意を反

映して意思決定していく考えがあるのか伺います。

答 住民投票をする予定はございません。

介護保険について

茂木 光雄

問 介護保険の現状と今後の給付費増に対する対応策について伺いたい。

答 本市の介護給付額は平成15年度実績で、1人当たり152万円となつており、前年度と比較して2万円程度増加している。その理由として、居宅サービスに比べ費用がかかる特別養護老人ホーム等の施設入所者が増加したことが要因と考えられる。平成17年度に特別養護老人ホームが新設される予定であり、今後は給付費をいかに抑えるかが最優先課題であつて、介護予防の推進、高齢者の健康維持増

進を積極的に進め、給付費の抑制を図るための適正化事業を推進しなければならぬと考えており、これまで以上に介護支援センターの協力を得、自立支援事業やミニデイサービス等を実施し、介護予防、生活支援、生きがい支援の充実を図つていきたい。

税の収納率向上について

茂木 光雄

問 各種税金の未納者、滞納者の増加を防止するため、コンビニエンス・ストアで税金の収納

を始める考えについて伺いたい。
答 市税の収納率は過去3年間で見ると毎年減少しており、この間に各種の収納率向上に向けた対策として、納税相談課での夜間徴収、市民環境部管理職による夜間徴収、市全体の管理職による特別滞納対策の徴収、藤岡行政事務所との合同徴収等の対策をとり、広報等でも口座振替の推進を行っている。市税のコンビニエンス・ストア収納

ていきたいと思つています。

市町村合併について

湯井 廣志

の場合、メリットとして納税者の利便性の向上、収納率向上対策、特に利用の高い若年層の収納率向上対策に有効と考えられる。デメリットとして、収納事務手数料が高く個人情報保護対策、コンビニエンス・ストア収納導入に伴つシステム開発経費増の問題があるが、上下水道料金、コンビニエンス・ストア収納を平成10年度から行っている事もあり、税務課においても実施できる税目から検討していきたい。

森林の整備について

湯井 廣志

問 森林資源の循環及び当市の定住人口増のため、日野・高山区の杉材で新築、増築した場合、材木の無料提供、また固定資産税の減額等を当市では行つ考えはないか伺いたい。

答 木材資源の循環利用を進めるため、また人口増にもかかわることであり、重要な課題と認識しています。今後、先進市町村等も参考にしながら検討し

問 市町村合併に当たっては住民の意思が最大限に尊重されなければなりません。住民の理解、納得なしに合併に走ることは避けるべきです。市長は、当市全世帯の1割程度、二千数百件のアンケート調査実施の意向であるが、この数で住民の意思が反映、確認できると思えません。当市全世帯を対象に住民意思を確認する考えはないか伺いたい。

答 鬼石町との1市1町の合併に向け住民説明会を行う中でアンケートを実施したい。また、市民二千数百人の無作為抽出アンケートを予定しております。統計学的に1000人余りの数があればよいと言われております。
問 介護制度は、10万人規模では小さ過ぎ、そのレベルでは市が単独で保険者になるのは難しいと指摘されています。鬼石

町との1市1町の合併では、将来少子高齢化が一段と高まり

益々地域の過疎化が進み、やがてこの規模では介護保険、福祉サービス行政すらできなくなる

おそれがあります。今の行政サービス継続、将来の行政サービスの確保を考えるなら、将来へ禍根を残さない為にも当市が加入することにより、43万人の自治体となる高崎地域と合併することが最良の選択であると考

えます。鬼石町との1市1町の合併ではなく、高崎地域と合併する考えはないか伺いたい。

鬼石町との合併に不返転の決意で取り組んでいく所存です。

合併について

反町 清

問 1市3町の合併は不可能なのか。

答 吉井町・新町、2町が住民投票の結果、高崎地域を選択したため、これから協議が出来ないので困難である。ただ、藤岡市に合併協議の申し入れがあ

れば一緒に協議して行きたい。

問 今後の進め方についてアンケート調査は全戸行うのか、また結果についての対応はどうするのか。

答 鬼石町と1市1町、編入合併を進めて行きたい。アンケート結果は参考にするが、結果にとらわれず1市1町で進めて行く。

公共下水道について

反町 清

問 公共下水道について、現在までの進捗状況と今後の計画はどのようになっているのか

答 当市の公共下水道事業は昭和54年に事業が開始され、整備率は事業認可区域の76%である。今後は補助対象の幹線管渠から単独事業の枝線管渠になるので財政状況に合わせて進めて行く。

問 浄化槽設置整備補助金について、下水道認可区域内でも下水道整備が遅れている地域の方に浄化槽設置整備補助金は出ないのか。

答 本事業は、国庫補助金等で財源負担しているため財源の問題もあり、下水道認可区域外を補助対象地域としている。

私道の受け入れについて

清水 保三

問 市民から寄せられた意見について伺います。過去の開発分譲地の中に、分譲地道路でありながら私道として放置されており、公道に移管されていない道路が多数あります。このまま放置しておく、さまざまなトラブルが起きる可能性があります。住民が利用する道路は、すべて公道として認めることが必要と思うが伺いたい。

答 現在、藤岡市では私道の受け入れについては、できる限り受け入れて市道として管理したいと考えています。

問 私道の不安や問題点について、公道でないので修繕・改修の費用は、私道なので第三者に売られたら、売買等により、新しい所有者が道路使

用料を徴収すると言い出したら、所有者から、管理費を負担してくれと言われたら、道路が壊れて事故が起きたら、道路を管理する開発業者が倒産したら道路の修繕・改修は、等々あります。早期解決の糸口を見つけてほしいが伺いたい。

答 いろいろな事象があると思えます。一度、土木課に相談に来ていただきたい。

北藤岡駅周辺土地区画整理事業に係る変更、見直しについて

串田 武

問 計画の白紙撤回・中止はしない。事業の見直しを行いたいが基本事業ことに内容を検討協議し、長期化を覚悟の上で事業の継続実施を約束することでよいのか伺いたい。

答 既に案として県の区画整理担当と協議中で、6月中旬に県が国と協議を行う予定であり、方向性が明確になった段階で関係機関・地域住民に説明し、ご理解とご協力を得ていく考えで

す。

問 既存道路の有効利用や三二開発団地の現状維持を考慮し計画道路の幅員整備や北藤岡駅前広場の縮小は考えられないのか伺いたい。

答 今後は一部既存の道路も区画道路として有効利用し、以前に開発等で築造された三二住宅団地内の道路は整備済とし、その周辺の区画道路について整備を図っていきたくと考えており、また北藤岡駅前広場は規模縮小の方向で検討したいと思えます。

土地区画整理法第76条及び用途地域について

串田 武

問 施行期間と土地区画整理法第76条（建築行為等の制限）に併なう念書の関係や実施計画を明確にすべきであると考えているが地権者に対して今後どう対応するのか伺いたい。

答 事業の見直し案について県・国の認可を受ける作業を段階的に進めております。市の財

政力を考慮し、実現できる予算規模、施行期間を20年くらいで新たな事業区域を設定し、土地区画整理法第76条と念書の相關関係を有効なものとしていきたいと考えております。また、事業認可が除かれた地区は、土地区画整理法第76条が適用外となり、念書も関係なくなります。また、用途地域については、事業の長期化が明らかのため、当分の間、事業着手ができない地区については事業の見直しや事業地内の環境に即した用途の変更について関係機関と協議を進め、今年度中に方針を示していきたいと考えております。

ふじの咲く丘

ふじふれあい館について

大戸 敏子

問 今年度のふじまつり期間中の利用状況と駐車場及びトイレについて伺いたい。

答 入場者数16万人、入館者数8万人です。観光バスは推測で3000台以上で日帰りツアーが大半です。物産販売状況は館

内でハンカチ・湯飲み茶碗・一筆せん等2204点、販売総額105万円余のうち手数料約40万円です。駐車場はみかぼみらい館の第3駐車場へ誘導。トイレはイベント期間中、不足するので仮設トイレ2基とみかぼみらい館のトイレを利用。トイレを男女10基つつ新設した場合は3000万円以上、仮設トイレでは30万円程度の費用が必要。

問 入場者が増えたがそれを観光収入に結び付ける方法やトイレ新設を考えているか。また、庚申山総合公園、ふじの咲く丘公園をもっと活用する考えはないか。

答 観光収入については、ふじ娘による館内での商品販売を行い、今後も収益が上がるよう努力したい。又、物産展の出店数等やイベント期間中の入場料等の徴収も検討したい。トイレ新設は一時的来園者増なので予算計上は厳しい。この公園の貴重な自然環境は良好な状態で保存する必要があるが本年度の都市公園の各施設の状況、防犯対策、景観対策等の調査の実施の

中で検討していきたい。

市内小・中学校の暑気対策について

大戸 敏子

問 公立学校に空調設備を導入するための補助金制度の状況と他市の暑気対策の現状について、また、市内の各小学校・中学校の教室に扇風機を設置する予算と実施する考えがあるか伺いたい。

答 国の補助金制度は条件付に変更され、当市の場合対象にならない。扇風機を設置している市は高崎市と富岡市、数年計画で設置する市は桐生市、安中市、PTAの寄附で一部設置する市が伊勢崎市、館林市です。予算は1教室4基で20万円、24万円、全195教室で3900万円、4600万円の工事費で電気料3カ月分24万円ほど。扇風機設置については既設の学校を調査しながら検討したい。

受領委任払いについて

斉藤 千枝子

問 出産育児一時金は、出生届け時の現金即日払いか受領委任払いにしていきたい。

答 受領委任払いは市から医療機関へ直接支払うため本人の負担が軽減されるため、研究をしながら関係機関との調整を図りたい。現金即日払いについては出産時の経済的不安を少なくすることを踏まえ、当面現金あるいはそれにかわる方法で出来る限り即日支給できることを研究したい。なお、市からの支払いが口座振り込みに進んでいる状況も、考慮しなくてはならないかと思えます。

問 高額療養費について、受領委任払いですと本人は自己負担限度額のみを医療機関の窓口で支払い、超えた額を立てかえなくてすみます。受領委任払制度の導入を進めていただきたい。

答 国の制度、県の指導も償還払いとなっている。県内の市で導入を始めたところがあるので、実態を把握し、県等と相談

しながら研究したい。

問 介護保険サービスの福祉用具の購入や住宅改修もほかのサービスと同じように一割負担の現物給付とし、利用者の負担軽減を図っていただきたい。高額介護サービス費についても受領委任払いの導入を望みます。

答 利用しやすい介護保険サービスを受けるために、受領委任払いへの切りかえを検討していかねばならないと考えている。今後、県内市町村の動向を見ながら、平成18年度の介護保険制度見直しにあわせて高額介護サービス費の受領委任払いを含め、総合的に検討したい。

藤岡市奨学基金について

斉藤 千枝子

問 保証人について市内在住と限定するのではなく緩和していただきたい。

答 市外の方の保証人も認める方向で条例改正を進めたい。

問 返済方法については、指定用紙による振り込みの場合、3時まで金融機関に入らなく



ではならない。時代に即応した方法に変えた方がよいが伺いたい。

【答】 現在の方法は、昼間働いている方は不便を感じていると思う。利用者数が小數で電算システムを導入する場合に費用対効果という意見があるが検討していきたいと考えている。

藤岡市の活性化に

ついて

吉田 達哉

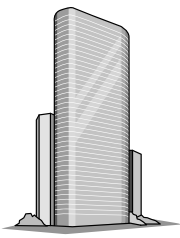
【問】 花や自然をメインにした事業や景観に観光客が増える中、竹沼の桜祭りに2万人、ふじ祭りに16万人が訪れる素晴らしい効果がでております。そこで年間を通し、四季折々の花を咲かせ観光客を増やせば、いろいろな波及効果が期待でき活性化につながると思いますが、市の考えを伺います。

【答】 花を媒体とした自然環境の整備を含め、通年の観光名所を構築し、ひいては市の経済効果にも波及できるよう、また過程において地域住民参加型の地

域づくりが幅広くできるよう協議検討したいと思えます。

【問】 首都圏は運動グラウンドが少ないので、企業や大学にグラウンドの貸し出しや合宿を誘致し、合宿パック等売り出すことにより流動人口や滞在人口が増え旅館や民宿、弁当屋、ユニフォームのクリーニング等、これに関する業種に経済効果があると思つが、市の考えを伺います。

【答】 当市は、高速インターがあり交通の利便性もよく、自然に恵まれた環境にあります。こうした条件を生かすことが必要と考えております。施設については、現有施設の効率的活用から利用の少ない期間の貸し出しや、現在閉校となっている学校のグラウンドの整備、あるいは河川敷のグラウンドの貸し出し方法を含め検討し、地域の経済効果に波及できるよう研究します。



小学校通学時の

負担軽減について

吉田 達哉

【問】 神川町で使用しているかばんはランドセルより軽くて、価格も約8千円と安く、普通に使えば6年間十分使えると高評価ですが、このタイプのかばんをランドセルを選ぶときの選択肢の一つとして情報提供できないか伺います。

【答】 このかばんは反射シールがつき厚手のナイロン製でしっかりとした物です。ランドセルの規定はないので、両手が使え後ろに転んだ時に頭部が守られれば良いので、情報提供できるよう校長会に促していきます。

鮎川流域景観形成

計画のその後について

橋本 新一

【問】 鮎川流域の森林整備は、どのように行われているのか。また、中倉地内の市有林についてはどのように考えているのか

お伺いします。

【答】 森林の持つ公益的機能の低下が懸念されますので、現在県が実施している水源機能回復事業により除伐、刈り払いを行わない、森林整備を図っているところであり、中倉地区の市有林は、面積26・5ヘクタールで杉が植林され、既に50年が経過しております。近年、森林整備は行なわれていませんが、本市としては、今後も県行政事務所森林部と緊密な連携を図りながら、森林本来の機能が損なわれないよう水源機能回復事業を推進し、適正な森林管理に努めていきたいと考えております。

農振除外について

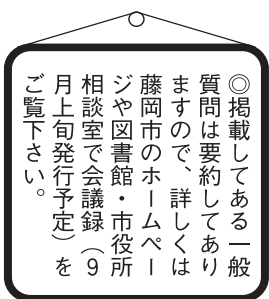
橋本 新一

【問】 平成7年に藤岡市都市計画マスタープランが策定されて

おりますが、このマスタープランと公立藤岡総合病院外来センター建設地開発や県立藤岡中央高校建設地開発の整合性についてお伺いします。

【答】 都市計画マスタープラン

は、藤岡市の将来の都市計画をどのようにしたらよいか、基本的な方針をあらわしているものであり、この計画に基づき、土地利用、都市施設、市街地整備にかかわる計画を実施しようとするものであります。この中で、藤岡市の総合計画の目標を実現するため、どのような都市づくりを行うかという方向を示したものであります。都市計画上当該地域の土地利用は、現在、都市計画区域の線引きによって市街地調整区域ということで、市街地を抑制する区域であり、市街地調整区域であっても開発許可の適用除外となっております。そういうことから、公立藤岡総合病院外来センター及び県立藤岡中央高校建設は、藤岡市に公益上必要であるということと適用除外ということとです。



◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(9月上旬発行予定)をご覧ください。

議案等審議結果(5月臨時会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告1号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)	報告
報告2号	専決処分の承認を求めることについて(藤岡市税条例の一部改正)	承認(全員一致)
報告3号	専決処分の承認を求めることについて(藤岡市都市計画税条例等の一部改正)	承認(全員一致)
報告4号	専決処分の承認を求めることについて(藤岡市国民健康保険税条例の一部改正)	承認(全員一致)
報告5号	専決処分の承認を求めることについて(平成15年度藤岡市一般会計補正予算第6号)	承認(多数)
報告6号	専決処分の承認を求めることについて(平成15年度藤岡市老人保健特別会計補正予算第3号)	承認(全員一致)
第40号	群馬県市町村会館管理組合規約の変更について	可決(全員一致)
選挙・選任		
第1号	議長の選挙	当選
第2号	副議長の選挙	当選
	経済建設常任委員会委員長の互選	当選
	合併問題調査特別委員会委員の補欠選任	選任

議案等審議結果(6月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告7号	平成15年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	黙示(全員一致)
第41号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員一致)
第42号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員一致)
第43号	藤岡市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(多数)
第44号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決(全員一致)
第45号	藤岡市学校給食センター設置条例の一部改正について	可決(全員一致)
第46号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第47号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
議員提出議案		
第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決(全員一致)
請 願		
第1号	乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書提出の請願	継続審査(多数)
陳 情		
第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情	採択(全員一致)

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎②1211内線2361)へ

委員 長 反町 清
副委員 長 齊藤千枝子
委 員 串田 武
" " " " "
久吉 清水 青木 木村 喜徳
保田 達保 正三 信夫

盛夏の候、6月の定例会では、10人の議員が一般質問を行い合併等について、熱い議論を交わしました。また、7月の臨時会においては、藤岡市・鬼石町合併協議会の設置について可決され、いよいよ本格的な合併が動き出す重要な年であります。『議会だより』も第27号となりましたが、これからも、市民の皆様は議会活動がより一層ご理解いただけるよう、わかりやすく読みやすい議会だよりにしていきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いたします。

編 集 後 記